

2023年7月吉日

保険薬局各位

社会福祉法人恩賜財団済生会和歌山病院
薬剤部
外来化学療法委員会

特定薬剤管理指導加算 2 における抗がん剤患者指導報告書の運用について
～トレーシングレポートの運用と様式の変更～

平素は、当院の院外処方せん応需におきまして、ご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、2020年度診療報酬改定に伴って、外来がん化学療法連携を充実のため、「抗がん剤患者指導報告書」にて薬学的管理及び指導を行った際に得られた情報や緊急性を要さない服薬状況などに関する報告、処方内容に関する提案などに対して、積極的にご活用頂き、ありがとうございます。

今回、一般社団法人和歌山県病院薬剤師会より和歌山県統一様式のレーシングレポート「がん薬物療法共通 TR_ver2.2」をご提供頂きましたので、当院でも取り入れさせて頂く運びとなりました。

運用方法につきましてはこれまでと変更なく、一般家庭等への FAX 誤送信を回避するため、原則として、済生会和歌山病院薬剤部宛に E-mail でご報告頂きますよう、ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

※ 疑義照会については通常通り電話による疑義照会及び「済生会和歌山病院 疑義照会簡略化プロトコル」に基づく疑義照会を不要とする運用となります。

※ 特定薬剤管理指導加算 2 を算定される際に統一様式のトレーシングレポートをご利用下さい。 なお、従来の外来がん化学療法の連携についても同様にご利用下さい。

◆がん化学療法トレーシングレポートの流れ◆ ※現行の運用と同様

保険薬局にて得られた即時性の低い情報



済生会和歌山病院 薬剤部 DI 室へメールにて報告

必要に応じて、化学療法チームの担当職種からの回答を保険薬局へフィードバック

※情報共有のためカルテに保存